

3月3日(火) 13:30～15:00	企画講座
伊勢神宮の何故 その6	
普段、皆さんが疑問に感じている神宮の不思議について一緒に考察を巡らせたいと思います。「何故」の議論をしていると、方々から更に様々な質問を受けるようになりました。	
・御稻御倉の金銅飾金物はなぜあんなに立派なのか？	
・由貴御倉の御下にある石は何を意味しているのか？	
・外宮には九丈殿があるが内宮に無いのはなぜか？	
などのご質問を今回はお答えします。これからも皆さんの純粋な疑問に対して質問を受け付け、真摯な回答に心掛けます。	
参加費 会員 1,000円 ビジター 1,500円	
講師 音羽 悟	神宮司庁 広報室 次長／神宮参事

3月17日(火) 13:30～15:00	企画講座
文化六年熟年夫婦の伊勢参り ～牧野勘四郎・きよ～	
日本各地には多くの「伊勢参宮道中記」が残っていて、私たちが当時の旅の様子などを知るうえで貴重な史料となっています。	
今回ご紹介するのは文化6年(1809)3月、江戸深川の茅商人・牧野勘四郎が妻きよとともに伊勢参りをした記録「牧野家文書二 道中記」です。一方、御師の丸岡家には二人を迎えた記録「太々御神楽献立」が残っていて、この二つの史料を突き合わせて見ることで当時のお伊勢参りの様子を詳しく辿っていきます。	
参加費 会員 1,000円 ビジター 1,500円	
講師 丸岡 正之	NPO法人旧御師丸岡家大夫邸保存再生会議 監事



3月18日(水) 13:30～15:30	体験講座
春のリース作りに挑戦	
今回は檜、杉、カシ、マキ、ヒバ等を中心とした春のグリーンリースを作ります。多種のグリーンとかすみ草、エリンジュームの小さなお花をアクセントにリボンをつけて可愛く仕上げます。出来上がりは直径約30cmの大きさがあり、お部屋、玄関をさわやかに彩ります。生木の植物がドライフラワーに移り行く様もお楽しみください。	
※生花用ハサミと持ち帰り用の袋、風呂敷などをお持ちください ※材料準備の都合により3／16(木)に申込みを締め切ります。お早目に申込みください。	
参加費 会員 3,000円 ビジター 3,500円 (材料代含む)	
講師 水井 文子	フラワーデザイン作家／クロリス・フラワーワークス主宰 募集定員 15名



3月20日(金) 11:00～13:30	特別講座
懐石・会席料理を知る	
「懐」と「石」がどう料理に関係するのか不思議ですね。もう一つの疑問は「懐石料理」と「会席料理」は同じ読み方ですがどう違うのというもの。簡単にいうと「懐石」は茶室で抹茶を美味しく味わうためのお茶の前に提供される一汁三菜を基本とする質素な食事です。一方、「会席」はお酒を美味しく味わうための食事です。今回は「懐石・会席料理」について教えていただきながらの食体験。『美味しそう!』という講座です。「懐石料理」は千利休が茶道に持ち込んだものだけに奥が深いものです。西岡先生の話をもっとくちとお伺いしましょう。	
参加費 会員 5,300円 ビジター 5,800円 (食事代含む)	
講師 西岡 宏起	相可高等学校 食物調理科 専門調理師 教諭

4月2日(木) 11:00～13:30	体験講座
桜と花見	
桜の意匠が設えられた左王舎でお花見講座。日本人の象徴のような桜、雑種交配が容易で800種を超える品種があるといえます。江戸時代に出現したソメイヨシノはその代表的なもので、今では日本中ソメイヨシノだらけになっています。これを憂いた佐野藤右衛門さんは、全国から有名な栽培品種を集め後世に残すという業績をあげました。今回の講座では、桜についてのお話や宇仁先生が行かれたサンフランシスコの桜祭りの様子などをお聞きしながら、桜にちなんだ和菓子とお茶を楽しみ、お昼ご飯は野遊ひ翫で眼下に桜の雲を見ながらいただきます。	
参加費 会員 5,000円 ビジター 6,000円 (昼食代・茶菓代含む)	
講師 宇仁 陽子	全日本作法会家督総本部 講師
講座会場 五十鈴塾左王舎	

4月3日(金) 13:30～15:00	企画講座
神宮と伊勢の人々 ～近・現代編～	
伊勢神宮は昔から変わらぬ営みを続けてきましたが、実はたくさんの困難を乗り越えてきたのです。近代では明治期、国家的な管理が強まり、祭祀が整理統合され、神宮大麻・御神楽が神宮で行われるなどの改革がありました。明治19年には神宮の整備を目的に神苑会が組織され、神域の整備や文化的施設の建築、御幸道路の造成など今日まで繋がる大事業を成しました。戦後、神宮は一宗教法人となり、新しい歩みを始めました。変化に戸惑いながらも神様を守り続けてきた神宮と伊勢の人々の動きをお話いただきます。	
参加費 会員 1,000円 ビジター 1,500円	
講師 千種 清美	文筆家／皇學館大学 非常勤講師

4月7日(火) 13:30～15:30	体験講座
珈琲の真髄を楽しむ	
珈琲の講座を企画開講してから早十数年。その間、珈琲の知識や実技について分かりやすく教えていただきました。今回は『改めて珈琲をじっくり楽しんでいただければ』と中村雅則先生が厳選した数種類の珈琲豆をご用意。“Japan Coffee Roasting Championship 2017”において、第3位を獲得された焙煎士・中村純也先生がそれぞれ豆の焙煎度を変えて珈琲を入れてくださいます。中村珈琲特製のお菓子と一緒に試飲しましょう。おまけの珈琲シェイクもいただけます。	
参加費 会員 3,000円 ビジター 3,500円 (珈琲・菓子代含む)	
講師 中村 雅則	なかむら珈琲 店主 中村 純也 ブラジル珈琲鑑定士



4月10日(金) 13:30～15:30	体験講座
日本独自の発展を遂げた掛軸 ～ミニ掛軸づくり～	
表具と聞いても今では知ってていそうで知らない人の方が多いと思います。伊勢で創業100年の表具屋が、掛軸の歴史、そして表具師の仕事とは何かを語ります。伊勢独自の掛軸文化の話を交え、掛軸をより身近に感じてもらうための講座です。表具は日本の誇るべき文化の一つ「一家に1本の掛軸を持ってもらいたい!」という強い信念で表具師は日々仕事をしています。今回はミニ掛軸を作り、日本の伝統文化に親しんでいただきます。	
参加費 会員 4,500円 ビジター 5,000円 (材料代含む)	
講師 杉山 広規	株式会社三重軸装 専務取締役 募集定員 15名



4月14日(火) 18:30～20:30	体験講座
「山桜香」を楽しむ	
「しらくもの たなびく山の 山桜 いづれを花と ゆきて折らまし」藤原師実 今回は、春の訪れを感じながら、山桜の香りを楽しむ心情を描いている歌がテーマ。組香は、香を聞き、香を味わい、香をあて楽しむのが醍醐味。そして朝日に照り映える山桜の花は大和心(日本人の心)のようなものとも言われています。【伽羅、羅国、佐曽羅】香のもつ不思議な力と神秘性を鑑賞し、今が盛りの「山桜」を楽しみましょう。	
参加費 会員 5,500円 ビジター 6,000円 (香錠料・食事代・菓子代含む)	
講師 東 堯霞	香道御家流三條西宗家 直門師範



4月15日(水) 13:30～15:00	特別講座
伊勢地域における明治末期の神社合祀とその後 ～南方熊楠の主張に触れつつ～	
明治末期～大正初年に全国的規模で展開された神社合祀政策。施策のモデル県と見なされた三重県では、10500余の神社が1100弱まで減少しました。伊勢市地域でもその影響は随分見られ、宇治山田町に一神社とする案まで登場し、激しい意見対立が生じました。人々はこの事態にどのように向き合ったのでしょうか。合祀問題当時の様相とその後を、紀伊田辺で激しい反対運動を行った南方熊楠の主張内容と合わせて、ご紹介したいと思います。	
参加費 会員 1,000円 ビジター 1,500円	
講師 櫻井 治男	皇學館大学 名誉教授

4月16日(木) 13:30～15:00	企画講座
伊勢の不思議を解き明かす	
伊勢神宮や伊勢の町には『えっなんだ?』と思うようなことがたくさんあります。例えば、式年遷宮は20年に一度行われますが、なぜ20年なのかたくさん説があります。それらを紹介しながら謎に迫っていただく「謎解き講座」です。	
・注連縄が一年中飾ってあるのはなぜか？	
・カップルで伊勢神宮を参拝するのはよくないの？	
など、観光客によく質問される疑問や、少し不思議な風習や言い伝えを、諸説まじえてお話いただきます。	
参加費 会員 1,000円 ビジター 1,500円	
講師 山中 一孝	豆腐庵山中 代表取締役

4月20日(月) 13:30～15:00	特別講座
源頼朝の伊勢信仰と鎌倉	
養和元年(1181)旗揚げ直後の源頼朝のもとに祈祷のため参着した度会光倫という権禪宜が、一般に伊勢御師のはじまりとされており、頼朝が伊勢神宮を崇拝していたことは確かなようです。しかし、その頼朝によってつくられた鎌倉の中心はあくまでも八幡信仰でした。本講座では、5月に予定されている五十鈴塾鎌倉ツアーのコラボ企画として、「武士の都」というイメージの強い鎌倉の「宗教都市としての側面」についてお話します。	
参加費 会員 1,000円 ビジター 1,500円	
講師 岡野 友彦	皇學館大学 文学部長

4月21日(火) 13:30～15:00	企画講座
鎌倉時代の参宮記を読む	
参宮記とは、伊勢神宮を参詣した人が、その様子や次第を書き遺したものです。このたびは、そのなかでも最古の部類に属する鎌倉時代の参宮記を、いくつか繙いてみます。約800年前の内外両宮や、宇治・山田などの町や人々の様子を、受講生の皆様とともに読み解いて参りましょう。	
参加費 会員 1,000円 ビジター 1,500円	
講師 多田 實道	皇學館大学 文学部国史学科 教授／曹洞宗神照山廣泰寺 住職



4月22日(水) 13:30～15:00	特別講座
猫の怪異	
猫はツンデレで甘え上手、摩訶不思議なところから妖しい存在に結び付き、猫又とか化け猫とかが文献に出てきたのは鎌倉時代。化け猫は怨念や恨みで人が猫に化けるもので鍋島の化け猫騒動などが有名、猫又は山猫などが年を経て、尾が二股になり二足歩行や人語をしゃべり、人を食べたりするようになったものです。一方で『招き猫』というもあり、おかげ横丁では「招き猫まつり」を開催するくらいに愛される存在です。招き猫の元となった京都・壇王法林寺の「黒い招き猫」を西山先生は実際に見に行かれたそうです。先生の猫談義に期待感が膨らみます。	
参加費 会員 1,300円 ビジター 1,800円	
講師 西山 克	京都教育大学 名誉教授

4月23日(木) 13:00～15:30	体験講座
革の世界 ～キーホルダー作り体験～	
レザークラフトとは、革を使用して様々な作品を作ることです。今回は、有名アーティストのギターベルトなどを手掛けた上中先生に革の歴史や専門とする彫刻(カービング)の魅力をわかりやすくお話していただきます。その後、牛ヌメ革のキーホルダーに自分の好きな柄や文字を自由に刻印し、一生モノのオリジナル作品をつくりましょう。	
※材料準備の都合により、4／16(木)に申込みを締め切ります。お早目に申込みください。	
参加費 会員 2,300円 ビジター 2,800円 (材料代含む)	
講師 上中 勝	ウエナカ革彫刻工房 代表 募集定員 15名



5月11日(月) 13:30～15:00	企画講座
三重の仏像 ～ここだけの話～	
近くに京都、奈良、滋賀という仏像のメッカがあるので目立ちませんが、実は国の重要文化財の仏像は全国9位という三重県。瀧川先生は40年近く調査活動을続けてこられました。その間にいくつかの新しい作例が発見されるなど三重の仏像は充実してきました。例えば松阪の安楽寺に伝わった「阿弥陀如来立像」と「地藏菩薩立像」は平成21年の調査で「快慶作」と判明し、令和6年に国の重要文化財に指定。このように新事実が判ったことを中心に、まさに「ここだけの話」をお聞きます。	
参加費 会員 1,100円 ビジター 1,600円	
講師 瀧川 和也	三重県総合博物館 学芸員



5月12日(火) 11:40～16:00	特別講座	野外
五十鈴塾と名古屋科学館の縁(えにし)		
名古屋科学館の元天文主幹、山田卓先生が五十鈴塾での天文講座を立ち上げられて四半世紀が経ちます。後輩の天文系の学芸員がその遺志を受け継ぎ、時には望遠鏡を持参して、星空を見上げる体験を取り入れながら90回超の講座を企画!今回はそんな歴史を思い起こしながら原点とも言える名古屋科学館を訪問しプラネタリウムの星空と一緒に見上げましょう。講師を務めてきた4名の学芸員が皆様をお迎えします。		
参加費 会員 5,800円 ビジター 6,800円 (入館鑑賞料・食事代含む)		
講師 野田 学	名古屋科学館 学芸員	
集合場所 近鉄名古屋駅 地下改札口前		※昼食後、名古屋科学館へ向かいます
集合時間 11時40分	募集定員 15名 (最少催行人員13名)	

5月18日(月) 13:30～15:00	特別講座
神と酒	
「御神酒(おみき)あがらぬ神はなし」といいます。また、「この酒は我酒ならず 大和なす大物主の醸(は)みし旨酒」ともうたいます。酒は、ことに古く濁酒は、祭事にあわせて醸造したものです。現在でも、島根県下や福島県下などでは、その行事を伝えているところもあります。それは、全国的にみると神人相嘗『直会(なほらい)』という伝承とも関係します。日本独自とはいませんが、特異な文化伝承としてよいでしょう。講義の締めとしても、直会としたいところです。	
参加費 会員 1,300円 ビジター 1,800円	
講師 神崎 宣武	民俗学者／神崎研究室 室長

5月22日(金) 13:30～15:00	特別講座
戦後の神宮の動向について ～第59回神宮式年遷宮の取組み～	
今回は特別講座として、戦後の神宮の動向、殊に第59回神宮式年遷宮の取り組みについてお話します。これまで人前で解説したことがないので、新鮮な話題としてお聞きいただけると確信しています。	
戦後の混乱期に神道指令が出され、神宮も窮地に立たされました。宗教法人「神宮」発足に至る苦労話や初の女性祭主任命に至る宮内庁とのやり取り、半官半民と称された戦後初の遷宮にあたり、宇治橋渡始式だけが正規の昭和24年に斎行されたその経緯、御装束神宝の仕様変更や金銅飾金物の数を減らした対応、奉賛美術品献納の事務と取り組み等を分かりやすく解説します。	
参加費 会員 1,000円 ビジター 1,500円	
講師 音羽 悟	神宮司庁 広報室 次長／神宮参事

5月23日(土) 11:00～13:30	体験講座
お米についてのお話 ～かまど炊きお昼ごはん～	
五十鈴塾の右王舎に『かまど』があるのをご存知ですか?今回は相可高校の調理クラブの生徒たちがかまど炊きに挑戦します。彼らも生まれて初めてのかまど炊き。うまく炊けるでしょうか?昔の女たちの苦勞をしのびながらも美味この上ないご飯を味わいましょう。そのほか料理の基本、卵焼きの実演もします。もちろん相可高校の料理の数々も用意されています。西岡先生には、お米についてのお話を伺います。	
参加費 会員 3,600円 ビジター 4,100円 (食事代含む)	
講師 西岡 宏起	相可高等学校 食物調理科 専門調理師 教諭

